

1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：原田 敬美

専門分野：建築・都市計画・地方自治

所有資格：技術士（建設部門）、博士（工学）、一級建築士

講師経験：東京都職員研修所（1981年）以降、建設省（現国土交通省）、東京都庁、多くの地方自治体で建築、都市計画、地方自治（アメリカの都市計画制度）などのテーマで500件以上の講演をしました。また、海外の学会、大学でも講演をしました。

2. 研修テーマ

住環境水準の指標について — 密集市街地における居住環境指標としての有効空地率

3. 研修の概要

住環境の物的環境を評価するための指標は（1）安全性、（2）利便性、（3）快適性、（4）持続性の分野で様々な指標が規定されています。住宅地、とりわけ耐火性、耐震性の視点から課題の多い密集住宅地について、安全性の観点から不燃領域率、木造建築建蔽率などがあります。しかし、保健性、快適性分野から物的環境を総合的に示す指標がありませんでした。そうした中、原田敬美が「有効空地率」という指標を提案し、当時の建設省の公式指標に採用されました。有効空地率の快適性指標としての意味、その策定経過、その活用方法について学びます。

本研修内容は原田敬美の学位論文に基づいております。

4. 研修対象とする職員

建築、都市計画、土木分野の職員

5. 研修受講により期待される効果

住環境水準の指標について学び、その中で新たに開発された快適性指標の有効空地率について学びます。住環境の評価方法、指標の開発方法について参考となります。